

日没前後の交通事故死 大幅増加

『生命線である道東道』

交通事故・車両故障で、道東道が止まると、物流に大きな影響が出ます
◆対面通行箇所が多いので、デイ・ライトで正面衝突事故を未然に防止しましょう◆

「人が立ち入らないと思っていた」

バックしてきた、バックホーにひかれ死亡

◇バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう◇

2016. 10. 13

岩手県の労働基準監督署は、バックホーとの接触防止措置を講じなかったとして、土木工事業の建設会社と同社の安全衛生責任者を労働安全衛生法第20条（事業者の講ずべき措置等）違反の容疑で地検支部に書類送検した。平成28年5月、同社が一次下請として作業を請け負っていた岩手県のトンネル工事現場で、同社労働者が死亡する労働災害が発生している。

被災者は、土砂の盛土作業中にバックしてきたバックホーに轢かれて死亡した。

同社は、バックホーとの接触を防止するために法律で義務付けられている、立入禁止措置や誘導員の配置といった安全対策を一切講じていなかった。「危険な場所なので労働者が立ち入ることはないと思っていた」と、安全対策未実施の理由について話している。

交差点進入時は・・・

- 交差点には、必ず「人」や「自転車」や「車」がいる
- 相手は、「避けない」、「止まらない」・・・かもしれない

交差点 「青」信号で発進時 前方、左右、歩行者の安全確認を、もう一度しましょう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

子供・高齢者は、動く赤信号！

土・日・祭日は、部活の小・中・高校生の自転車に注意しましょう！

逮捕の運転手から、『覚せい剤』陽性反応

大型ダンプが暴走、歩道に乗り上げ横転

2016/10/12 19:00

11日に山梨県で大型ダンプで暴走して、覚せい剤所持の疑いで逮捕された男の尿から、覚せい剤の陽性反応が出たことが分かった。警察が入手経路などを捜査している。事件は11日昼前、県道で、歩道に乗り上げて横転した大型ダンプの車内から、袋入りの覚せい剤が見つかり、運転手の男が覚せい剤所持の疑いで現行犯逮捕された。男は事故を起こした直後、「ジュースを取るうとしていて、事故の記憶はない」などと話していた。警察は男が常習的に覚せい剤を使っていた可能性があるとみている。

中学校教諭の女性が、“酒気帯び運転”

教育委員会は、臨時の記者会見を開く予定

2016年10月12日(水) 12時07分

福岡県の中学校教諭の女性(46)が、酒気帯び運転の疑いで逮捕されました。女性は先週、道路わきの溝に脱輪する事故を起こしていました。目撃者の通報で駆けつけた警察が、容疑者の呼気を調べたところ、基準値の3倍を超えるアルコールが検出されたため、事故前の足取りなど、裏付け捜査を進めていました。取り調べに対し吉永容疑者は「市内の焼き鳥屋でビールを飲んだ」と供述し、容疑を認めているということです。教育委員会は、臨時の記者会見を開く予定です。

「居眠りしていました」

追突事故、助手席の男性が車外に投げ出され、対向車にはねられ死亡

2016. 10. 12 07:39

奈良県の西名阪自動車道で1月2日、乗用車が軽乗用車に追突し、軽乗用車の助手席に乗っていた男性=当時(36)=が車外に投げ出され、反対車線を走行していた車4台に相次いではねられ死亡した事故で、県警高速隊は11日、自動車運転処罰法違反（過失致死傷）容疑などで、乗用車を運転していた男性会社員(50)ら、車を運転していた男女5人を地検に書類送検した。高速隊によると、乗用車を運転していた会社員は、「居眠りをしていた」と容疑を認めているという。

バイク男性の上半身切断、上半身が横を走る線路に飛ばされる

電柱のワイヤに激突したはずみ

2016年10月12日

12日午前8時ごろ、兵庫県で、スピード違反で逃走し、白バイに追跡されていた20代の男性が運転するバイクが対向車線にはみだし、女性が運転するバイクと衝突した。さらに衝突のはずみで男性のバイクが電柱を支えるワイヤに激突し、男性の体が切断され、上半身が横を走る山陽電鉄の線路に飛ばされたという。